

令和元年6月24日現在

機関番号：15401

研究種目：基盤研究(A) (一般)

研究期間：2016～2018

課題番号：16H02067

研究課題名(和文) 大学へのファンディングの変化と大学経営管理改革に関する国際比較研究

研究課題名(英文) A Comparative Study on Funding and Governance of Universities

研究代表者

丸山 文裕 (Maruyama, Fumihito)

広島大学・高等教育研究開発センター・特任教授

研究者番号：60144888

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 29,000,000円

研究成果の概要(和文)：本研究の一連の調査分析によって、日本と外国における大学改革と資金配分の関連が、実証的に明らかにされた。その結果、日本における資金配分方法の今後の在り方に知見を提供できることになった。

また資金配分の方法の変更に伴う大学ガバナンス、マネジメント、リーダーシップなど大学組織改革への在り方に示唆を与えることができる。すなわち競争的資金獲得にどのような組織が適切か、どのような人材が必要か、その養成はどうするのか、等である。

また本研究成果は、高等教育無償化政策についての意義や問題点についても知見を提供することができる。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究の成果は、大学への資金配分方法と大学改革の在り方に示唆を与えることができる。

本研究は、大学財政と大学改革を分析し、2018年からの高等教育無償化政策の意義と課題に知見を提供できる。

本研究は、大学財政について分析しており、日本の私立大学の経営、とりわけ授業料水準や学生募集に知見を与えることができる。

研究成果の概要(英文)：This study examined the relationship between the changing way of funding to universities and the university reforms in Japan and foreign countries. It described university reforms in the past thirty years and the allocation of research and teaching funds to universities in various countries.

This study also suggests the implication and problems of the free higher education policy implemented in 2019 in Japan by the prime minister Abe.

研究分野：高等教育

キーワード：大学改革 大学財政 高等教育無償化

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19、CK - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

政府から大学に用意される教育研究資金および業務遂行、経営資金は、基盤的性格から競争的性格へとシフトしている。競争的資金の割合は、1990年には10%ほどであったが、2011年には30%を超えている。かつて中教審答申では、「大学へのきめの細かいファンディング」が政策的に示され、その後資金提供の多様化が進められた。競争的資金の割合の増加は、この政策を進めた結果と解釈できる。このような資金配分方法の変化について、その評価および課題について分析が進められている。

しかし資金配分方法の変動は、ファンディング機関の役割や組織の在り方、大学の教育研究業務遂行、大学組織の変容、ガバナンス等に影響を与える。資金配分方法の変更によって、ファンディング機関では、プログラムディレクター(PD)、プログラムオフィサー(PF)から競争的資金マネジメントにかかわる人材を抱える組織が発足し、PD、PFの役割や人材養成が課題となっている。

2. 研究の目的

本研究の目的は、大学の量的拡大(内的要因)や、大学へのファンディングの額と方法の変化(外的要因)が大学システムや組織変容をもたらし、大学管理経営改革を進行させるという社会学および経営学理論を各国の事例により検証することである。20世紀終わりから各国で進行した大学改革と、政府資金配分方法の変更との関係を理論的に整理し、実証的に分析し、大学教育研究機能の活性化についての知見を得る。具体的には、

- 1) ヨーロッパ、アメリカ、アジアにおける大学改革と資金配分方法との関係を明らかにする。
- 2) 各国事例を比較し、日本の今後の国立大学制度と資金配分方法見直しへの課題を探る。

3. 研究の方法

本研究は、理論研究、データ分析、等によって以下の6点について研究を遂行する予定である。

- 1) 日本、アメリカ、ヨーロッパ、アジア諸国における大学(法人)制度、大学組織および高等教育財政制度の理論的研究
- 2) 日本における大学へのファンディングの現状、および個別大学財務に関するデータ収集・分析
- 3) 大学への資金提供者への日本のファンディングの現状についてのインタビュー調査
- 4) 国立大学のガバナンス、学内組織についての訪問調査およびアンケート調査
- 5) 海外における資金配分と大学組織の現状に関する政府、大学関係者へのインタビュー調査

各国の大学組織改革と資金配分の方法について、国際比較分析およびその結果の総括

4. 研究成果

本研究の一連の調査分析によって、日本と外国における大学改革と資金配分の関連が、実証的に明らかにされる。その結果、日本における資金配分方法の今後の在り方に知見を提供できることがあげられる。すなわち基盤的経費と競争的資金の適正配分、基盤的経費配分における業績評価の反映の方法、その反映分の割合、「きめの細かいファンディング」の具体的方法、等である。また資金配分の方法の変更に伴う大学組織改革への在り方に示

唆を与えることができる。すなわち競争的資金獲得にどのような組織が適切か、どのような人材が必要か、その養成はどうするのか、等である。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕(計 3 件)

両角亜希子著「学長のリーダーシップとその能力養成」『名古屋高等教育研究』第 19 号 2019 年 3 月 pp171-196. 査読あり

小林雅之著「私立大学の経営戦略と学生支援政策」『私学高等教育研究叢書』私学高等教育研究所 2018 年 3 月 pp93-114. 査読なし

丸山文裕著「教育無償化政策の意義と問題 論点の整理」『私学高等教育研究叢書』私学高等教育研究所 2018 年 3 月 pp13-27. 査読なし

〔学会発表〕(計 0 件)

〔図書〕(計 1 件)

東京大学 大学経営・政策コース編(両角亜希子、福留東土、小林雅之、丸山文裕他)『大学経営・政策入門』東信堂 2018 年 8 月全 260 ページ

〔産業財産権〕

出願状況(計 0 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年：
国内外の別：

取得状況(計 0 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年：
国内外の別：

〔その他〕

ホームページ等

6. 研究組織

(1)研究分担者

研究分担者氏名：小林 雅之

ローマ字氏名：Kobayashi Masayuki

所属研究機関名：東京大学

部局名：大学総合教育研究センター

職名：教授

研究者番号(8桁): 90162023

研究分担者氏名：両角 亜希子

ローマ字氏名：Morozumi Akiko

所属研究機関名：東京大学
部局名：教育学研究科
職名：准教授
研究者番号（8桁）：50376589

研究分担者氏名：福留 東土
ローマ字氏名：Fukudome Hideto
所属研究機関名：東京大学
部局名：教育学研究科
職名：准教授
研究者番号（8桁）：70401643

研究分担者氏名：秦 由美子
ローマ字指名：Hada Yumiko
所属研究機関名：広島大学
部局名：高等教育研究開発センター
職名：教授
研究者番号（8桁）：30263031
（平成28年度のみ研究分担者）

研究分担者氏名：藤村 正司
ローマ字指名：Fujimura Masashi
所属研究機関名：広島大学
部局名：高等教育研究開発センター
職名：教授
研究者番号（8桁）：40181391
（平成28年度のみ研究分担者）

研究分担者氏名：大場 淳
ローマ字指名：Oba Jun
所属研究機関名：広島大学
部局名：高等教育研究開発センター
職名：准教授
研究者番号（8桁）：50335692
（平成28年度のみ研究分担者）

(2)研究協力者
研究協力者氏名：
ローマ字氏名：

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属されます。